



住吉教会 2014 年度テーマ  
「殉教者の霊性を生きる」  
—信仰刷新の年—

## 最後の晩餐

赤波江 豊 神父

イエスは受難に向かう夜、弟子たちと最後の食事をしました。この最後の食事を教会は後にミサと呼んで、その時のイエスの命令に従って今まで、そしてこれからも永遠にこのミサを行います。ところでこの最後の晩餐の本当の様子はどうだったのでしょうか。イタリアのミラノにレオナルド・ダ・ヴィンチが描いた有名な最後の晩餐の絵があり、多くの人にはその絵のイメージがあります。ダ・ヴィンチが描いた最後の晩餐の絵にはこれから受難に向かうイエスの悲壮感と弟子たちの驚いた様子が感じられます。でもこれはあくまでもダ・ヴィンチの想像画に過ぎません。真実の様子は誰にも分かりません。でもダ・ヴィンチと同じように私たちも最後の晩餐を自由に想像してもいいのです。でも私たちが日頃参加している最後の晩餐の再現であるミサは私たちにとって決して「最後」ではありません。永遠に続く喜びの食事です。そこで私はいつかこんな絵を描きたいと思っています・・・イエスを中心に 12 人の弟子たちがテーブルを囲んでいる。でもその弟子たちはペトロやヨハネではなく弟子としての住吉教会の皆さんです。そこには満足そうな表情のイエスとともに、小さな赤ん坊からお年寄りまでのいろんな世代の人たちが嬉しそうにテーブルを見つめている。そのテーブルの上にはいろんなごちそうが並んでいる。でもそのごちそうにはひとつひとつ名前がつけられている。命と書かれたパンと喜びと書かれたぶどう酒を中心に、愛と書かれた真っ赤なリンゴ、希望と書かれた大きなメロン、勇気と書かれたおいしそうなステーキ。他に感謝と書かれた立派な鯛や優しさと書かれたアイスクリームなどなど・・・この絵のタイトルは「喜びの食卓」です。皆さんこの絵の想像つきますか？

私たちは皆パーティーが好きです。嬉しい行事のときには必ずパーティーがあります。実際ミサは永遠のパーティー会場であり、メインテーブルの祭壇の上にはパンとぶどう酒以外に愛、希望、感謝、優しさ、勇気などあらゆるごちそうが並んでいるのであり、いくら取ってもいいのです。決してなくなりません。さて今年の復活祭には皆さんどんなごちそうをいただけるのでしょうか？

### 教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で 収入のある方です。不況等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体を支え育てるため 可能な限りのご協力をお願いいたします。 神に感謝 (赤波江 豊神父)

# 2014年3月度カトリック住吉教会評議会議事録

1. 日時 2014年3月16日(日)11:25～12:48
2. 場所 住吉教会第2会議室

始めの祈りとことば 赤波江神父

## 3. 議事

### 拡大評議会

#### I 審議事項

- (1) 祈念堂管理委員会報告: Y司牧チーム代表より2月16日に開催された「祈念堂の今後についての説明会」(出席者54名)概要について説明され、調査表は3月10日現在46家族から回答があったこと、今後の業務予定として教区墓地の見学(4箇所)のため教会負担でバスを手配することが承認された。  
また、今回、教区納骨所へ改葬を希望される場合、教区に正式に氏名が登録されることが説明された。なお、今後の具体的な日程等については改めてご案内させていただきます。

### 定例評議会

#### I 日程確認

- (1) 今後の日程確認: 追記(3月23日現在の最新記事を掲載)
  - 3月30日(日) 11:00 ホームページ委員会
  - 4月5日(土) 炊き出し(住吉教会当番日)
  - 4月6日(日) 小教区総会(予算・決算、行事計画、新チーム長紹介)、  
評議会(新旧役員)
  - 4月10日(木) 10:00 星の園幼稚園始園式
  - 4月11日(金) 星の園幼稚園入園式
  - 4月12日(土) 高山右近列福を祈る巡礼、会計監査  
14:00 教会学校入学式、始業式
  - 4月13日(日) 受難の主日(枝の主日)、大掃除
  - 4月16日(水) 11:00 大阪カテドラル聖香油ミサ、  
司祭金祝・銀祝
  - 4月17日(木) 聖木曜日(主の晩さん) 19:00 司式 山本神父
  - 4月18日(金) 聖金曜日(主の受難) 18:00 十字架の道行  
19:00 主の受難、大斎・小斎
  - 4月19日(土) 聖土曜日(復活徹夜祭) 19:00
  - 4月20日(日) 9:30 復活の主日ミサ、初聖体、パーティー(担当A地区)
  - 4月27日(日) 協力司祭山本神父様、和歌山北ブロックにご転任  
協力司祭傘木神父様、ご着任
  - 5月18日(日) ミサ後、赤波江神父様送別会
  - 5月24日(土) ～25日(日) サムエルナイト(神戸中央教会、住吉合同)

6月1日付け 赤波江神父様、高松教区桜町教会へご出向

2007年から7年間、住吉・神戸中央教会（共同宣教司牧）  
の担当司祭としてご指導いただきました。

7月1日付け ブラッドリー・ロザイロ神父様ご着任

## II 審議事項

(1) 神戸バイブルハウス支援チャリティ「テレマン室内オーケストラ」コンサートの  
チケット購入協力依頼の取組みについて

日時:5月11日(日)14:30開場、15:00開演、神戸中央教会

例年どおり、教会援助が提案され、承認された。

(神戸地区評議会にエキュメニカル活動の委員として出席し、毎回活動報告が行われています。)

III 各チーム代表選任報告、提案(司牧チームについては現在改選手続き中です。)

チーム代表改選:

典礼チーム MH氏

広報チーム HH氏

社会活動チーム YK氏(代表代行)の選任及び各協力体制について、承認された。

## IV その他

(1) 神戸地区大会実行委員会: 4月27日(日)第1回実行委員会、担当 中ブロック。

住吉実行委員2名公募いたします。議長までお申し出ください。

推薦の上、4月評議会に提案いたします。

(2) 3月26日(水)11:35頃から、枚方教会から約20名の方が住吉教会巡礼。

昼食場所として、茶菓の準備必要。昼食後、神戸中央教会へ向かわれる予定。

(3) ミサの時、磁気ループの調整にご注意願います。

(4) ミサゴの利用をお願いいたします。交流の場とともに、東日本大震災復興支援募金として活用されます。

(5) 教会建物メンテナンス献金、今後も継続しますのでご協力をお願いいたします。

\* 住吉教会として、いろいろなイベント・行事があり、皆様方のお力が必要です。

「スタッフチーム」として人材を募集しますので、どうぞお助けください。

登録していただける方は、議長、副議長までお申し出願います。

次回評議会: 4月6日(日)ミサ後、小教区総会(予算・決算、年間行事計画、新チーム長紹介)、  
のち評議会(新旧役員)

終わりの祈り 赤波江神父

(文責 TU)

# 聖週間について

典礼チーム

今年も四旬節の半ばになり、まもなくわたしたちは1年でもっとも大切な、ご復活の日を迎えます。その直前の聖週間は次のような日程になります。

## (1) 4月13日(日)受難の主日〔枝の主日〕 9時半

この日は主キリストのエルサレム入城と受難という、二つの出来事を記念します。わたしたちはシュロの枝を持って聖堂の入口に集まり、枝の祝福を受けた後福音の朗読を聞いて、司祭と奉仕者に続いて聖堂に入ります。ミサの中では、キリスト・語り手・群衆などに役割を分担して、キリストの受難が朗読されます。今年はA年にあたるためマタイ福音書から読まれます。

## (2) 4月17日(木)聖木曜日 19時 主の晩さんの夕べのミサ

キリストが聖体を制定し、ご自分の記念として行うように命じた“最後の晩さん”を記念します。またキリストが弟子の足を洗った出来事になって、司祭が数人の信者の足を洗う洗足式もおこなわれます。拝領祈願の後、御聖体は別の安置所に移されます。祭壇上のはすべて取り除かれ、キリストの受難と死が始まったことを表します。わたしたちは仮安置所の御聖体の前で祈ります。

## (3) 4月18日(金)聖金曜日 19時 主の受難

この日はキリストの受難と死の意義を思い起こして断食し、また救いへの過越の途上なのでミサはありません。聖堂に集まって、「言葉の典礼」で役割を分担したヨハネによる受難の朗読を聞き、盛式共同祈願ののち「十字架の礼拝」がおこなわれ、「交わりの儀」の中であらかじめ聖別された御聖体をいただきます。

## (4) 4月19日(土)復活徹夜祭 19時 復活の聖なる徹夜祭

本来は夜を徹してキリストの復活を記念する典礼でしたが、住吉教会では夜の7時から行われています。典礼は次の「光の祭儀」「言葉の典礼」「洗礼と堅信」「感謝の典礼」の4部で構成されています。

- ① 「光の祭儀」 聖堂の外で祝福された火が復活のろうそくにともされ、皆で「キリストの光」・「神に感謝」と歌いながら、列になって真っ暗な聖堂に入ります。その後復活のろうそくから各々のろうそくに火がともされ、“復活賛歌”が歌われます。
- ② 「言葉の典礼」 照明をつけろうそくを消して着席した後、旧約聖書が読まれます。全部で七つありますが、当教会では第1朗読(創世記)、第3朗読(出エジプト記)、第7朗読(エゼキエルの預言)が読まれ、それぞれ答唱詩編と祈願がつきます。その後祭壇のろうそくに火がともされ、“栄光の賛歌”を歌い、“使徒パウロのローマの教会への手紙”、アレルヤ唱、福音朗読と続きます。
- ③ 「洗礼と堅信」 この徹夜祭は初代より洗礼式にもっともふさわしい時と考えられてきました。住吉教会でもこの日に洗礼と堅信を受け、初めてご聖体をいただく方を迎えます。またすでに信者であるわたしたちも、各自の洗礼を思い起こし、神の子として生きる決意を新たにします。
- ④ 「感謝の典礼」 ここからはいつもの主日のミサと同じように行われます。

## (5) 4月20日(日)9時半 復活の主日〔日中のミサ〕

この日はアレルヤ唱の前に“復活の続唱”を歌います。また初聖体のお恵みをいただく方もおられますので、信者たち皆で喜びを分かち合います。